

## 26日 金曜

### 列王 I

10:1 ときに、シェバの女王は、【主】の御名によるソロモンの名声を聞き、難問をもって彼を試そうとしてやって来た。

10:2 彼女は非常に大勢の従者を率い、バルサム油と非常に多くの金および宝石をらくだに載せて、エルサレムにやって来た。彼女はソロモンのところに来ると、心にあることをすべて彼に問いかけた。

10:3 ソロモンは、彼女のすべての問いに答えた。王が分からなくて、彼女に答えられなかったことは何一つなかった。

10:4 シェバの女王は、ソロモンのすべての知恵と、彼が建てた宮殿と、

10:5 その食卓の料理、列席の家来たち、給仕たちの態度とその服装、献酌官たち、そして彼が【主】の宮で献げた全焼のささげ物を見て、息も止まるばかりであった。

10:6 彼女は王に言った。「私が国であなたの事績とあなたの知恵について聞き及んでいたことは、本当でした。

10:7 私は自分で来て、自分の目で見ると、そのことを信じなかったのですが、なんと、私にはその半分も知らされていなかったのです。あなたの知恵と繁栄は、私が聞いていたうわさより、はるかにまさっています。

10:8 なんと幸せなことでしょう。あなたにつく人たちは。なんと幸せなことでしょう。いつもあなたの前に立って、あなたの知恵を聞くことができる、このあなたの家来たちは。

10:9 あなたの神、【主】がほめたたえられますように。主はあなたを喜び、イスラエルの王座にあなたを就かせられました。【主】はイスラエルをとこしえに愛しておられるので、



あなたを王とし、公正と正義を行わせるのです。」

10:10 彼女は百二十タラントの金と、非常に多くのバルサム油と宝石を王に贈った。シェバの女王がソロモン王に贈ったほど多くのバルサム油は、二度と入って来なかった。

10:11 また、オフィルから金を積んで来たヒラムの船団は、非常に多くの白檀の木材と宝石を、オフィルから運んで来た。

10:12 王はこの白檀の木材で、【主】の宮と王宮のための柱を作り、歌い手たちのための竖琴と琴を作った。今日まで、このような白檀の木材が入って来たことはなく、見られたこともなかった。

10:13 ソロモン王は、シェバの女王が求めたものは何でもその望みのままに与えた。さらに、ソロモン王の豊かさにふさわしいものも彼女に与えた。彼女は家来たちを連れて、自分の国へ帰って行った。

この女王に対してソロモンが対応した様子について、ある註解では批判的です。ソロモンが主からの知恵を自分の名声のために利用しているというのです。もちろん誰もがそのような点を自戒することは必要です。本当に主の栄光につながっているのだろうか謙遜に考えるべきです。

ただ、女王は「あなたの神、主はほむべきかな。」と発言して、主の栄光が表されています。イエス様もシェバの女王のことに言及しておられ、「ここにソロモンよりもすぐれたものがあるので。」と、シェバの女王を求道者のひな型としておられます。

であるならば、私たちは求道者に神の恵みを見せて、その人に証するソロモンの姿に教えられることができます。主からの恵の豊かさを大いに見せて、またそれを分け与えて、主のすばらしさを

体感できるようにしてあげましょう。そして最後には主が崇められることを目的としましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

